

日本大学第三学園生徒支援会レター



【第22号】



2017年3月1日発行

生徒支援会コミュニケーション委員会

卒業生の皆さん、
卒業おめでとうございます。



生徒支援会
潤間 佳おり

皆さんが、三中三高を立派に卒業されることを、心から嬉しく思います。

思い出されるのは、皆さんが様々な行事等で仲間と共に汗を流し、頑張る姿に胸を熱くし、感動する場面があり、合唱コンクール、体育大会では、感激し涙ぐむご家族の方がたくさんいらっしゃいました。

これまでの多くの経験をいかし、将来の夢に向かって積極的に挑戦され、更に大きく成長される事を願います。

校長先生をはじめ教職員の皆さま、これまでご指導いただき、誠にありがとうございました。

そして保護者の皆さま、これまで支援会活動にさまざまな形でご協力をいただきましてありがとうございます。

卒業生の皆さん、保護者の皆さまのご健勝とご活躍を心よりお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

特別講演会

名将・小倉監督

「失敗・挫折は、いい経験」

早春の凛とした空気の中、2月24日(金)本校講堂にて、硬式野球部監督小倉全由先生の講演会が開催されました。以前から小倉監督の講演会を望む声は多くあったものの、なかなか実現出来ずにはありましたが、今回、高校2年生の学年委員会の働きかけで是非というムーブメントとなり、いよいよ実現するに至りました。

講演会では、監督ご自身による失敗の経験から、挨拶の大切さ・30年前も今も子供達は変わらない、教えれば出来るということ・子供を怒っても、大人の側から歩み寄って許すこと。そして、日本の文化や躰を大切にして、子供達と一緒に風呂に入って背中を流し合う等実践していることを、ユーモアを交えてお話し下さり、会場は終始笑いに包まれました。

講演終了後には、センバツ“必勝”の思いを込めた沢山の方々からの寄せ書きが、監督へ手渡されました。3月19日(日)から開幕の選抜高校野球大会での三高ラインのご活躍を心より楽しみにしております。



支援会レターのカラー版やバックナンバーは、生徒支援会ホームページで閲覧できます。ぜひご覧ください。

百人一首かるた大会～中学生



1月28日(土)、恒例の「百人一首かるた大会」が開催されました。
総合体育館の正面には横断幕、両サイドには中学1年生力作の《私の百人一首》が飾られ、会場を盛り上げます。
かるた大会は、中学生全学年が班に分かれて6回戦行い、総獲得枚数で順位を競います。



”どんどん”と、太鼓の合図で一瞬で静寂、前のめりになり集中。
読み手が上の句を読み上げ、それと同時に手が出る班、下の句の初めに接戦の班、読み終わる頃にはどっと歓声が上がります。

第5回戦でようやく読まれた「ちはやぶる～」は、待ちました！とばかりの大歓声で一番盛り上がりました。
後半戦に入ると、ぐっと集中力が増し、札を見る目も真剣に！

三中生の勝負力の強さを感じました。

今年、全168班の中での優勝は、なんと1年生！圧巻でした。
来年も日本の伝統文化を身近に感じながら、学年の枠を超えた熱い戦いが期待できそうです。



★班別順位★ (全80枚)	
1位	…1年A組7班 (73枚)
2位	…3年A組2班 (62枚)
3位	…3年F組1班 ・ 2年B組7班 (60枚)
★学年別順位★	
3年生	優勝 …F組 (372枚) 準優勝…E組 (371枚)
2年生	優勝 …B組 (367枚) 準優勝…G組 (335枚)
1年生	優勝 …A組 (328枚) 準優勝…B組 (321枚)
★読み手賞★	
3年F組	柚崎 慶二君
3年G組	川田 千翔君

